

平成 28 年度 事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人サボネットおごおり

1. 事業の成果

平成 28 年度は、前年度と同様に「相談支援」、「地域活動支援センター I 型」（オープンスペース）、「移送サービス」の 3 部門それぞれに目標と責任分担を明確化して連携しながら活動を行った。平成 29 年度の事務所移転を見越し、基幹型相談支援事業所の基盤作りの“年”と考え、相談支援専門員（精神保健福祉士）を 1 名増員し相談訪問専用車両を 1 台増車、備品（パソコン・机・業務用システムの更新・書庫・印刷機のリース等）等を購入した。費用的にも多額で負担になったがようやく基幹型の相談支援事業所としての整備が出来たかと考える。また、NPO 独自の移送サービスでは移送車両の申請を各助成団体へ行う予定であったが、熊本震災の影響で希望車両がリストから外れ、唯一損保ジャパン財団のみの申請を行ったが却下となった。その為、来年度（29 年度）に寄付金にて購入予定である。移送サービス開始 12 年目として、市内障害者の移動手段として不可欠となっている。関係機関にも周知され毎月の申請も継続的にあっている。

各部門の内訳として「相談支援」部門は、基幹型相談支援事業所の体制を整える為、1 名職員を増員これにより相談支援専門員は 6 名となり、このメンバーで「生活支援事業」「相談支援」「計画相談」「認定調査」「自立支援協議会事務局」「うつ病家族広場」「グローバルネットワークおごおり」「地域交流活動」「地域支援活動」の 9 本立ての活動を行った。今年度の特徴として、月 2 日の閉所日（第 2 日曜日・第 4 水曜日）以外は相談支援専門員が常駐し基本相談や来所できない人への訪問や同行、会議等をスムーズに行った。また、昨年同様に計画相談も多い為、業務対応が非常に難しく相談専用の公用車を 1 台（リース車）増やし、2 台体制とし対応した。毎年多くなる相談件数を 6 名の相談支援専門員と車両を 1 台増やしたことで対応できた事は良かったと思われるが、課題として急な相談や来客、認定調査等に対応できる相談室がない事である。

「生活支援事業」では、「本人活動支援事業」として各団体の支援や個人活動支援、「ボランティア活動支援事業」として行事へのボランティア要請を行うと共にボランティアの育成を行った。「福祉機器リサイクル事業」では、広報誌や掲示板を利用し、関係機関への周知を行ない、提供 24 件（10 品目 57 点）、譲渡 25 件（10 品目 52 点）のリサイクル斡旋をおこなった。課題としては、リサイクル機器の常設会場がない為、大型の福祉機器は提供者宅に保管したままで、見

本がない状態での斡旋になるため、譲渡の調整に時間がかかることが多くあった。

「相談支援」については、事業所開設以来最多の1,901件（延べ件数）の相談があった。内訳は来所相談577件、電話・メール相談353件、訪問682件、同行214件、支援会議75件（全て延べ件数）となっている。これは相談専門員の1名増員と車両の1台増車で対応可能となったと考える。

「計画相談」は昨年とほぼ変わらず436件【内訳、新規50件（実人数50名）、更新210件（実人数180名）、モニタリング176件（実人数155名）】を実施した。計画作成に伴う本人や関係者との支援会議や自宅訪問、更にモニタリング等の事業者訪問や同行等で外出が多くなり、毎月の計画相談件数をセーブしなければ、対応が難しい時もあった。

「認定調査」は、144名の調査を行った。現在3障害別の4名の調査員で対応している。急な調査以来への対応や調査場所については自宅より施設が多くなり、訪問・同行・支援会議と重ならない為の日程調整に苦慮した。調査員として、障害別の対応が必要であり、5年先を考え新職員の調査員としての育成を図った。同時に相談業務と重複するが課題として、緊急の調査依頼に対して相談室の確保が課題と考える。

「自立支援協議会事務局」については9年目となり、毎月1回の「運営会議」の他、「ネットワーク会議」「学校教育連絡会」「各ワーキングチーム」（WT）と実施した。障害当事者を含む市内障害者関係機関による「ネットワーク会議」は、年3回開催した。内容として、トピックスの共通研修や相談支援のトータルマネジメント研修も実施した。その「ネットワーク会議」の中で昨年より「就労ワーキングチーム（WT）」「居宅WT」「児童WT」「日中活動WT」「住まいWT」が発足し、各WTが独自に勉強会（年3～4回）を行った。また、念願だった障害者と健常者が一緒に参加する「イベント」を12月25日に実施しギネス登録（トナカイの服装で505名）を行った。

「学校教育連絡会」については、市内小・中・高校・特別支援学校の先生方や子育て支援課、教育委員会の担当者の参加もあり、市内に新設された事業所の紹介や利用方法等の意見交換会を行なった。今年は初めての試みとして児童WTが参加した。その後の問い合わせもあり、少しずつ相談窓口が浸透してきたと考えている。

「全体会」は年2回、運営会議や各会議の報告及び指定相談事業所の相談状況や個別支援会議の報告を行った。

「うつ病家族広場」については、平成22年1月より、毎月1回実施している。スタッフはサポネットから2名、市福祉課から1名。今年は7年目となり延べ51名の家族の参加があった。今後も形態を考えながら家族のニーズに応じて行きたい。

「グローバルネットワークおごおり」で行う障害児の長期休暇中（春休み・夏

休み・冬休み)のデイサービス事業は、毎回利用する保護者からは前もって期日の問い合わせが増加し、事業への期待が大きくなるとともに、新しい障害児の参加も多くなってきた。人数が多い場合は、ボランティアの通常2名体制を1~2名とした為、利用する障害児全員を受け入れることが出来た。

しかし本年度はウインタースクール、スプリングスクールと参加数が減少した。理由として、市内に障害児を受け入れる事業所が増えたため、そちらへの移行が考えられる。

「**地域交流活動**」については、障害児(者)の啓発活動の一環として、市内外からの個人・団体の見学や小・中・高生の実習受け入れや講師派遣を行った。

本年度は、育休職員が復帰した為、社会福祉士・精神保健福祉士資格取得の為の学生現場実習受け入れを実施すると共に、実習指導担当者(社会福祉士・精神保健福祉士)をそれぞれ2名体制とした。

「**地域支援活動**」についても、小郡市内の各障害者団体との自立支援協議会を通じて連携も密に取れるようになり、その団体に応じたいろいろな支援が出来たと思われる。

次に「**地域活動支援センターI型**」(オープンスペース)では、常時2名以上の職員を配置し、「いつでも行ける場所」「いつでも相談できる場所」として定着してきた。本年度は、オープンスペース担当職員を相談支援専門員が兼任し、職員と同時に有償ボランティアをお願いし、必ず2名のスタッフ配置とした。平日はもちろん、土・日・祭日には市外(久留米市等)や県外(鳥栖市等)からも来所があり、障害児・者やその友人、通所施設の利用者や就労している人が気軽に行ける場として、不可欠な場所となっている。

来訪者数は5,505名(延べ人数)だった。市内に障害者施設が増えてきた為か、平日の日中は少なく、事業所が終了した後からの利用が多くなる。休日は朝から利用者が非常に多く1日を通して30名以上になることが多い。定例の行事(昼食会・レク会等)への参加は毎月20名~30名ほどあり、オープンスペースが混雑する場合は、あすてらす館内のゾーン(温泉・エントランスホール)を利用して過ごされている。また、男性利用者が多く女性が利用しにくいという事で初めた「レディースデー」は年1回の実施だが好評でその後も平日でもスムーズに女性利用者が入れるようになった。

最後に「**小郡市福祉有償運送事業(移送サービス)**」については、運転手6名、(専任1名、兼任5名)、車いす対応車両3台体制で行い、無事故・無違反を続けている。

平成28年度の利用登録者は267名、移送回数は延べ5,222件(昨年より167

件増) となり総収益(移送代金と年会費)は3,901,940円となった。

3 台体制のため、予約時点で調整を行なうことで早朝の対応も行ない、障害(身体・知的・精神・児童・特定疾患)に応じた対応(介助)にて、安心して乗車して頂けると考える。その反面、維持経費(人件費や燃料費等)もあり、タクシー料金の半額という利用料金では収益は出ず本年度も実質赤字になっている。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動法人に係る事業

定款の事業	事業の内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者の生活支援に係る事業(1)	認定調査事業(面接)	通年 9時～ 17時	調査対象者宅 施設・病院 相談室	6名	障害(児)者 144名	
	生活相談事業(来所)	通年 9時～ 17時	支援センター 相談室	6名	障害(児)者・家族・関係者等 (延べ)577件	
	生活相談事業(電話・メール)	通年 9時～ 17時	支援センター	6名	障害(児)者・家族・関係者等 (延べ)353件	
	生活相談事業(同行)	通年 9時～ 17時	市役所・施設・病院等	6名	障害(児)者・家族 (延べ)214件	
	生活相談事業(訪問)	通年 9時～ 17時	自宅・施設・病院等	6名	障害(児)者・家族 (延べ)682件	
	生活相談事業(支援会議)	通年	支援センター 自宅・市福祉課等	6名	障害(児)者・家族・関係者 (延べ)75件	
	生活相談事業(計画相談)	通年 9時～ 17時	自宅・相談室 施設・病院等	6名	障害(児)者 計画相談 436件	
	生活支援活動(オープンスペース利用)	通年 9時～ 17時	支援センター	8名	障害(児)者・家族・ボランティア (延べ)5,505名	

生活支援活動 (昼食会)	月1回 10時～ 13時	あすてらす 調理実習室	8名	障害(児)者・家 族・ボランティア 9回(延べ)131名
生活支援活動 (レクレーション会)	月1回 13時半～ 15時半	あすてらす 多目的ホール	8名	障害(児)者・家 族・ボランティア 9回(延べ)148名
生活支援活動 (クリスマス会)	12/23	あすてらす 多目的ホール	8名	障害(児)者・家 族・ボランティア 22名
生活支援活動 (お花見会)	3/26	あすてらす	8名	障害(児)者・家 族・ボランティア 21名
生活支援活動 (レディース デイ)	11/20	あすてらす 研修室	2名	障害(児)者・ボラ ンティア (延べ)5名
生活支援活動 (野球観戦)	7/3	福岡ヤフオク ドーム	3名	障害(児)者・家 族・ボランティア 16名
生活支援活動 (コミュニティ バスツアー)	8/13	イオン小郡	2名	障害(児)者・家 族・ボランティア 4名
生活支援活動 (カラオケ大 会)	2/5	あすてらす 音楽教養室	1名	障害(児)者・家 族・ボランティア 3名
生活支援活動 (ボウリング 会)	9/18	楽市楽座 210 久留米店	3名	障害(児)者・家 族・ボランティア (延べ)20名
生活支援活動 (忘年会)	11/27	一品香小郡店	10名	障害者・ボランテ ィア 23名
生活支援事業 (ふれあいオ リンピック)	10/16	小郡市体育館	2名	障害(児)者・家 族・ボランティア 10名
生活支援事業 (うつ病家族 広場)	月1回 13時半 ～15時	あすてらす 研修室1	2名	障害者家族 (延べ)51名

	生活支援活動 (グローバルネットワークお ごおり)	年3回 10日間	あすてらす 多目的ホール 調理実習室等	2名	障害児・ボランテ ィア (延べ)413名	25,227
	小郡市福祉有 償運送事業 (移送サービ ス事業)	随時	小郡市を発着 地とする圏域	6名	障害者手帳所持者 及び登録者 267名 (延べ)5,222件	9,672
障害者への理 解を深める為 の啓発活動に 関する事業(2)	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	6/23 ～ 2日間	サポネットお ごおり	6名	社会福祉協議会実 習生 (延べ)2名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	7/28 ～ 2日間	サポネットお ごおり	6名	宝城中学校 職場体験 (延べ)2名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	7/30 ～ 3日間	サポネットお ごおり	6名	三井高校 インターンシップ (延べ)3名	
	地域交流活動 (見学者への 説明)	8/5	あすてらす 会議室1	10名	小郡特別支援学校 10名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	8/8 ～ 24日間	サポネットお ごおり	6名	フチガミ医療福祉 専門学校相談援助 実習 1名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	8/16 ～ 24日間	サポネットお ごおり	6名	久留米大学 相談援助実習 1名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	8/25 ～ 2日間	サポネットお ごおり	6名	三国中学校 職場体験 (延べ)4名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	8/29 ～ 2日間	サポネットお ごおり	6名	社会福祉協議会実 習生 (延べ)6名	
	地域交流活動 (研修会への 講師)	11/30	天神クリスタ ルビル	1名	相談支援従事者現 任研修 182名	

	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	12/13 ～ 16日間	サポネットお ごおり	6名	九州医療専門学校 精神保健福祉援助 実習 1名	0
	地域交流活動 (見学者への 説明)	1/31	あすてらす 会議室1	1名	大分県中津市 3名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	3/14 ～ 2日間	サポネットお ごおり	6名	社会福祉協議会実 習生 (延べ)2名	
	地域交流活動 (就労セミナー)	2/13	あすてらす 視聴覚室 会議室3	2名	障害(児)者・家 族・ボランティ ア・関係者 73名	
障害者団体が 行う上記の (1)(2)の活動 の支援事業	地域支援事業 (イルカの会 例会)	11回	あすてらす 和室・各種教 室等	2名	ボランティア (延べ)4名	
	地域支援事業 (小郡市身体 障害者体育大 会)	5/8	博多の森 陸上競技場	1名	身障協会員・家 族・関係者 (延べ)28名	
	地域支援事業 (身障協ふれ あいオリンピ ック)	10/16	小郡市市民体 育館	2名	身障協会員・家 族・関係者 (延べ)21名	
	地域支援事業 (身障協日帰 り旅行サポー ト)	11/3	荒木観光ホテ ル	1名	身障協会員・家 族・関係者 33名	
	地域支援事業 (ワークショ ップ虹会議)	6回	ワークショッ プ虹	2名	虹職員・精神障害 者関係職員 (延べ)38名	
	地域支援事業 (精神障害者 ケア会議)	4回	あすてらす 会議室2	2名	ヘルパー・精神障 害者関係職員 (延べ)80名	

	地域支援事業 (精神障害者 地域支援会 議)	2回	北筑後保健福 祉環境事務所	1名	精神障害者関係職 員 (延べ)52名	0
--	---------------------------------	----	------------------	----	------------------------------	---

(2) その他の事業

定款の事業	事業の内容	実施 日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
	該当なし					